

KSN 通信 VOL.178

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

春の季語に「東風（こち）」があります。東風とは風の吹く方向ではなく春風の総称で、春は陰陽五行で東を司るため、春を告げる梅を開花させる風としても昔から多くの歌に詠まれており、春の代表的な風の言葉になります。温かい風で雪を解かし、梅の花を咲かせるが、ときに強風となって時化を呼ぶ風でもあります。



■ 環境ニュース

■ 陸の「グリーンカーボン」、海の「ブルーカーボン」

植物は、光合成によって大気中の CO₂ を吸収し、炭素を隔離します。森林等陸上生物の作用により隔離・貯留される炭素のことを「グリーンカーボン」、海草（アマモ等）や海藻、植物プランクトン等海洋生物の作用により隔離・貯留される炭素のことを「ブルーカーボン」といいます。かつては両者ともグリーンカーボンと呼んでいましたが、二酸化炭素吸収源としての海洋のポテンシャルに期待が高まるにつれ、両者を区別する必要性が生じ、2009年の国連環境計画（UNEP）において、「ブルーカーボン」という言葉が提唱されました。ブルーカーボン生態系はグリーンカーボン生態系と比較して、より効果的かつ効率的な炭素吸収源として活用できるポテンシャルを秘めており、人工林が成熟期を迎え森林の CO₂ 吸収量が急速に減少しつつあるなかで、ブルーカーボンの重要性はさらに増すと考えられています。しかし、ブルーカーボンの分布面積は海洋全体の 1% 以下であるうえ、陸上の熱帯雨林以上のスピードで減少していることが大きな課題として浮かび上がっています。また、グリーンカーボンに比べ研究や情報の蓄積、技術等の開発が遅れているため、官民が連携しながらネガティブエミッション技術への活用の取り組みを進めています。

■ 「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」について

環境省では、「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」を推進しています。

この運動は、2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、暮らし、ライフスタイルの分野でも大幅な CO₂ 削減が求められるため、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を促すよう、衣食住にわたる国民の将来の暮らしの全体像「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの 10 年後」を明らかにし、具体的なアクションを提案するとともに、自治体・企業・団体等の参加の下、脱炭素化による豊かな暮らし創りに向けた取組を展開し、新たな消費・行動の喚起とともに、国内外での脱炭素型の製品・サービスの需要創出にもつなげていくものです。

令和5年2月3日時点で、548の企業・自治体・団体等が参画しており、今回、令和5年1月27日（金）に第3回官民連携協議会が開催されました。これまで寄せられた新規提案プロジェクトや御意見の内容、既存プロジェクトの進捗等を共有したほか、新たに設定するスモールグループの運用方針を確認しつつ、今後のキャンペーンの動きや協議会全般に関する質疑応答・意見交換等が行われました。また、ポータルサイトにおいては、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る各主体の取組や製品・サービス等を広く募集しており、計154件の取組や製品・サービス等が登録されています。

発行元：株式会社関西再資源ネットワーク

〒592-8331

大阪府堺市西区築港新町4丁2番5

TEL：072-320-9001（代表）

FAX：072-320-9004